

東部水産漁港部だより

8月号



宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
「みやぎ水産の日」PR広報紙

【お問合せ先】水産漁港部内 水産振興班, 漁業調整班
TEL: 0225-95-7914, 1473

魚の“旬”をお知らせします！ ～魚市場編～

8月は女川魚市場の様をお伝えします。7～8月は沖合底曳き網漁が休漁のため定置網の水揚げが中心となります。取材日には、大型定置網2隻、小型定置網2隻の水揚げがありました。

8月5日、小型サンマ船（10ト以上20ト未満）6隻が女川漁港から出港しました。今漁期の安全操業と豊漁を祈念しております。

定置網

当日は、「マイワシ」が約4t
「マサバ」が約300kg, 「マアジ」
が約200kgの他、多くの魚種が
水揚げされました。

「マイワシ」は不飽和脂肪酸
(EPAやDHA)やビタミン類・カ
ルシウムが豊富で非常に栄養価
が高い魚なので夏バテ防止にも
オススメです。つみれ汁、ハン
バーグ、さつま揚げ等様々な料
理で美味しく食べられます。

魚体が小さい「ウルメイワシ」
は酢漬けにして食べると美味し
いと買受人の皆さんに教えても
らいました。



魚種ごとに分別



コンベアで運ばれる魚



マイワシ, ウルメイワシ



小さい(10cm)カタクチイワシ



マサバ



マアジ



イナダ



ブリモドキ



タチウオ



ホウボウ

【編集後記】

8月に入り猛暑が続いていますが、魚市場で働く皆さんは魚が傷まないように細心の注意を払いながら機敏に作業を行っています。スカイトankの氷も、鮮度を保つため、たくさん入れているそうです。新鮮な地元の夏魚、オススメですよ!! (S・W)

第18回 宮城県青年・女性漁業者交流大会が開催されました

令和元年8月8日、石巻市河北総合センターにおいて、第18回宮城県青年・女性漁業者交流大会が開催されました。この大会は、県下の漁村青壮年・女性グループ代表者が日頃の活動や研究の成果を発表するものです。その内容は、有識者からなる委員により審査され、その結果、最高位になった青年部・女性部の団体は、来年3月に東京で開催される全国大会に出場し、宮城県代表として発表する予定です。

東部地方振興事務所管内からは、渡波漁船漁業協同組合渡波赤貝漁業部が「渡波アカガイ資源の復活を目指して」、宮城県漁業協同組合石巻湾支所女性部が「地域再生とともに歩む女性部」と題する発表を行いました。

審査の結果、石巻湾支所女性部が「最優秀賞」に選ばれ、全国大会への出場が決定しました。渡波赤貝漁業部は「優秀賞」で、惜しくも全国大会の切符は逃しましたが、これまで取り組んできた活動は高く評価され、発表者のスピーチは堂々たるものでした。



▲ 渡波赤貝漁業部杉山様の発表



▲ 石巻湾支所女性部丹野様の発表

▼ 全国大会に出場する石巻湾支所女性部の皆様



令和元年度 漁業士会中部支部地区懇談会が開催されました

令和元年8月23日、宮城県漁業士会中部支部では、6次産業化や商品開発、首都圏での本県水産物の販売動向を把握するため、株式会社パイロットフィッシュ代表取締役 五田市知香氏を講師として、地区懇談会を実施しました。当日は漁業士以外にも、後継者育成の観点から、青年部や研究会、浜を支える女性部の方々も参加されました。

商品開発の際の「商品を作り、販売するまでのストーリー性」、「どこ向けにどうしたいのかのコンセプト」、「販売戦略」等について講演いただき、大変有意義な懇談会となりました。

なお、6次産業化をテーマとした本懇談会は、昨年度から実施しており、昨年度の懇談会終了後に実施したアンケート調査において、参加者の9割近くの方から内容のシリーズ化を希望されたことを受け実施したものです。

▼ 研修会の様子

